翻訳業界のリーディングカンパニーが業界基準を築く

株式会社 翻訳センター
平成23年3月期第2四半期
決算説明会

http://www.honyakuctr.com

平成22年11月19日

JASDAQ
証券コード：2483

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

Ⅰ．平成23年3月期 第2四半期（累計）実績

1．概　要
2．四半期業績推移
3．分野別動向
4．言語別売上高
5．登録翻訳者動向
6．損益計算書
7．貸借対照表
　・キャッシュフロー計算書

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

1. 概　要

単位：百万円、%、円

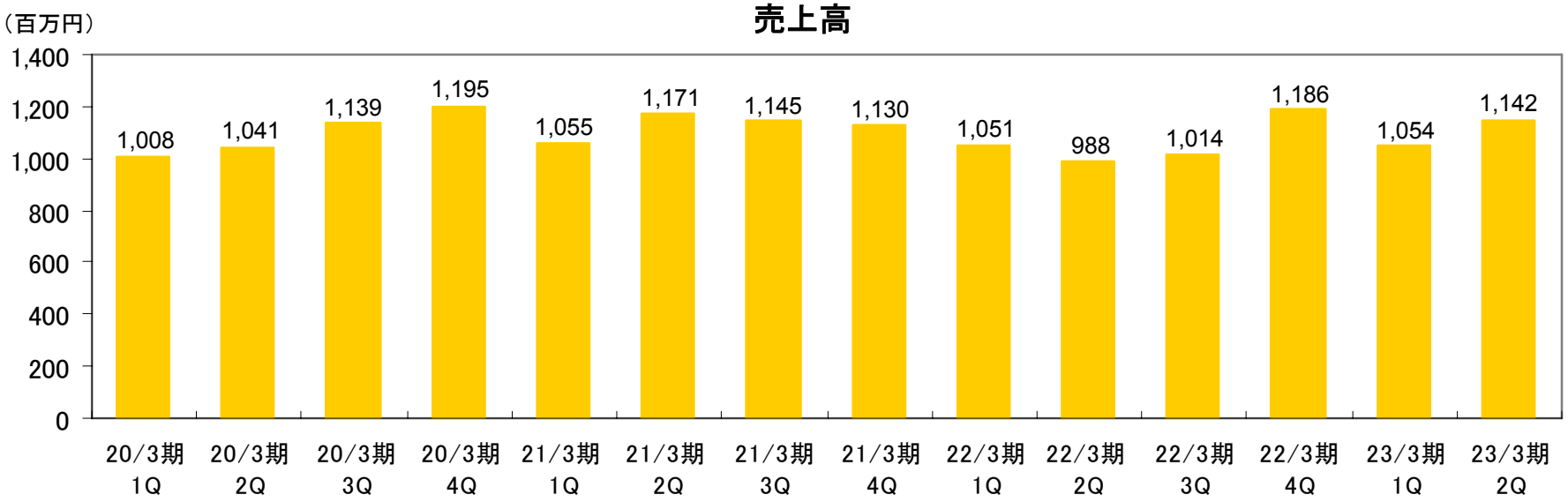
	H21/9 2Q累計	H22/9 2Q累計	増減	伸率	期初予想
売上高	2,039	2,196	157	7.7	2,100
営業利益	53	106	52	98.9	60
経常利益	54	96	42	76.6	60
四半期純利益	28	57	29	103.4	35
一株当たり純利益	2,170	3,963	—	—	2,077

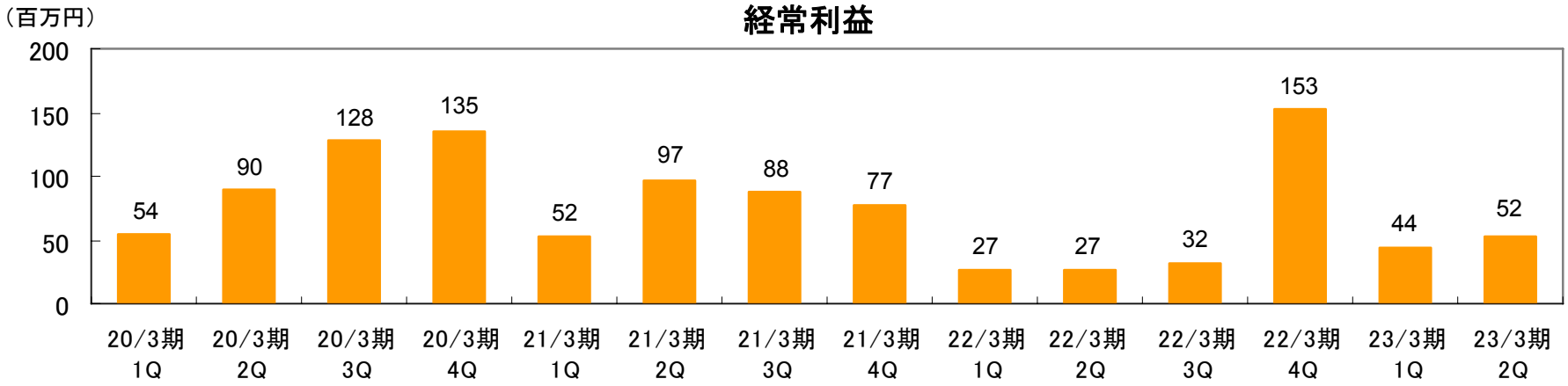
※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。
※US1ドル＝91円02銭で換算しております。

■ 医薬分野は堅調、工業と金融分野の受注が回復傾向に
■ 米国子会社 HC Language Solution Incの利益大幅増により、期初連結業績予想を上回る

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

2. 四半期業績推移





■ 売上高・利益ともに回復傾向

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

3. 分野別動向

① 売上高

単位：百万円、%

	H21/9 2Q累計	構成比	H22/9 2Q累計	増減	伸率	構成比
特　許	655	32.1	625	△30	△4.5	28.5
医　薬	668	32.8	729	60	9.0	33.2
工　業	475	23.3	530	55	11.4	24.1
金　融	177	8.7	221	44	24.8	10.1
その他	62	3.1	89	27	44.3	4.1
合　計	2,039	100.0	2,196	147	7.7	100.0

② 受注件数

単位：件、%

	H21/9 2Q累計	構成比	H22/9 2Q累計	増減	伸率	構成比
特　許	4,966	24.5	5,558	592	11.9	23.2
医　薬	7,434	36.7	8,847	1,413	19.0	36.9
工　業	5,554	27.4	6,932	1,378	24.8	28.9
金　融	1,882	9.3	2,309	427	22.7	9.6
その他	407	2.0	306	△ 101	△ 24.8	1.3
合　計	20,243	100,0	23,952	1,668	18.3	100,0

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

4. 言語別売上高

※翻訳センター 単体

単位：百万円、%

	H21/9 2Q累計	構成比	H22/9 2Q累計	伸率	構成比
英語	1,685	87.4	1,632	△3.1	81.7
アジア系言語*1	96	5.0	138	43.8	6.9
ヨーロッパ系言語*2	86	4.5	120	39.5	6.0
その他	59	3.1	106	79.7	5.3
合　計	1,927	100.0	1,998	3.7	100.0

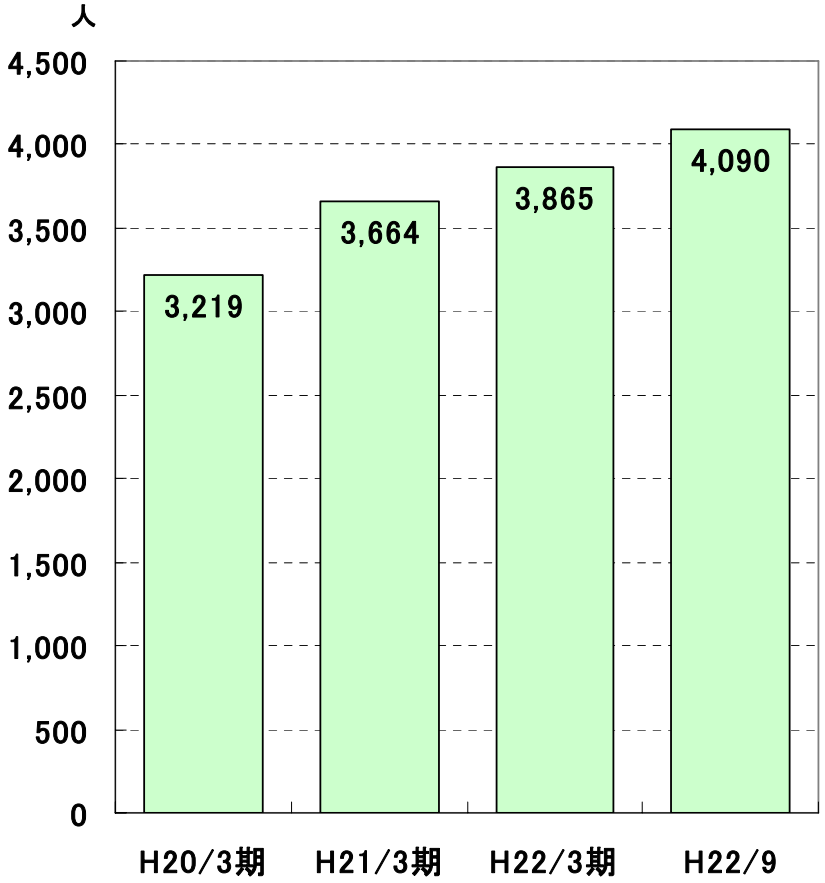
*1 中国語・韓国語・タイ語・ベトナム語・ヒンディー語・インドネシア語など
*2 ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・ロシア語・ポルトガル語・オランダ語・北欧語・東欧語など

■ アジア系言語は中国語が伸長
■ ヨーロッパ系言語はFIGS言語（フランス・イタリア・ドイツ・スペイン）が牽引
■ 英語⇔多言語翻訳が増加

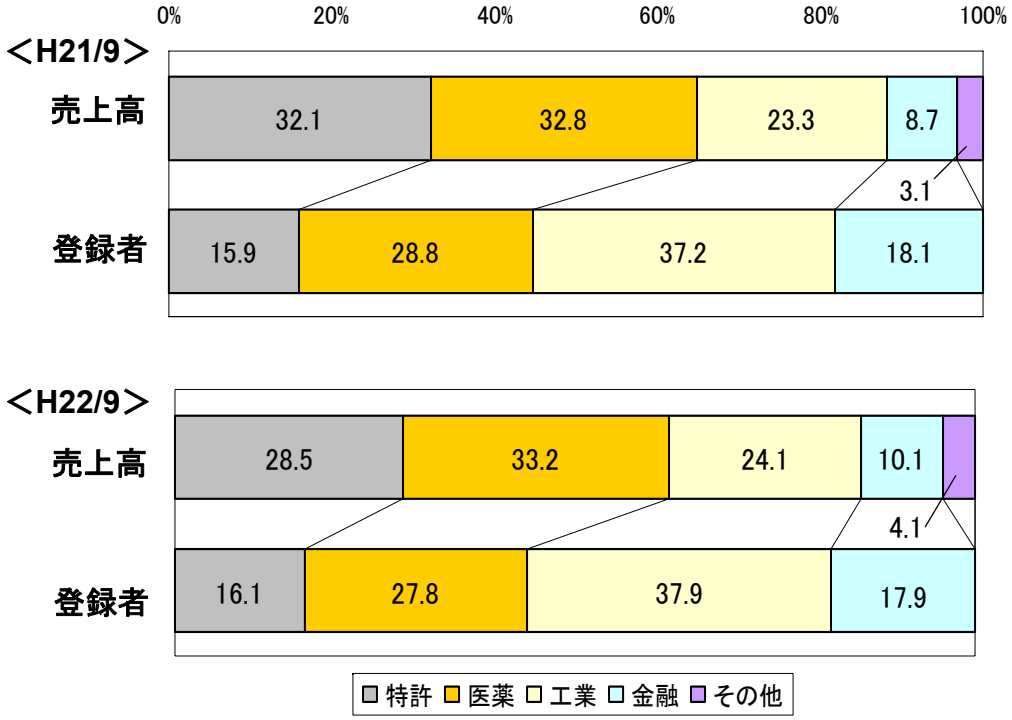
Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

5. 登録翻訳者動向

登録翻訳者数の推移



分野別売上高・登録者数割合



Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

6. 損益計算書(1)

単位:百万円、%

	H21/9 2Q累計	構成比	H22/9 2Q累計	増減	伸率	構成比
売上高	2,039	100.0	2,196	157	7.7	100.0
売上原価	1,119	54.9	1,256	136	12.2	57.2
売上総利益	919	45.1	940	20	2.2	42.8
販売費及び一般管理費	866	42.5	833	△32	△3.7	38.0
営業利益	53	2.6	106	52	98.9	4.8
営業外収益	1	0.1	0	△1	△76.2	0.0
営業外費用	0	0.0	9	9	-	0.4
経常利益	54	2.7	96	42	76.6	4.4
特別損益	0	0.0	△5	△6	-	△0.2
税金等調整前四半期純利益	55	2.7	91	35	64.5	4.2
四半期純利益	28	1.3	57	29	103.4	2.6

■ 加工費の振替方法の一部変更により、人件費→売上原価へシフト

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

6. 損益計算書(2)

単位:百万円、%

	H21/9 2Q累計	構成比	H22/9 2Q累計	増減	伸率	構成比
売上原価	1,119	54.9	1,256	136	12.2	57.2

	H21/9 2Q累計	構成比	H22/9 2Q累計	増減	伸率	構成比
販売費及び一般管理費	866	100.0	833	△32	△3.7	100.0
人件費*	629	72.7	583	△46	△7.3	69.9
人件費以外	236	27.3	250	14	6.0	30.1

■ 前年と比較可能な実質ベースにおいて、原価率は1．2ポイント改善し、販売管理費率は1．0ポイント減少（金額ベースでは5．2%増）

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

7. 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

単位：百万円

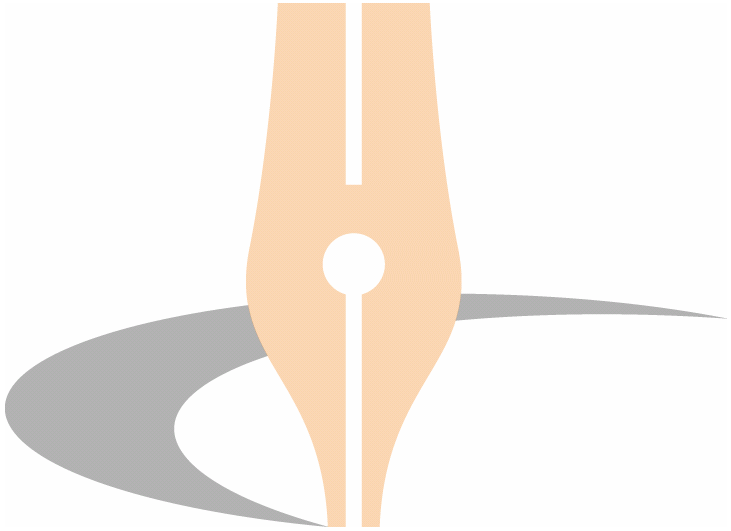
	H21/9末	H22/9末	増減
（資産の部）			
流動資産	1,724	2,377	652
固定資産	478	396	△81
資産合計	**2,202**	**2,774**	**571**
（負債の部）			
流動負債	501	600	99
固定負債	121	134	13
負債合計	**622**	**735**	**112**
（純資産の部）			
株主資本	1,585	2,045	459
評価・換算差額等	△5	△5	△0
純資産合計	**1,580**	**2,039**	**459**
負債純資産合計	**2,202**	**2,774**	**571**

単位：百万円

	H21/9末	H22/9末	増減
税金等調整前四半期純利益	55	91	35
営業活動によるキャッシュフロー合計	65	134	68
投資活動によるキャッシュフロー合計	△38	△205	△167
財務活動によるキャッシュフロー合計	△54	319	373
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△28	247	276
現金及び現金同等物の期末残高	975	1,310	334

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

Ⅱ．平成23年3月期見通し



1．概　要
2．分野別売上高（予想）
3．損益計算書（予想）

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

1. 概　要

単位：百万円、%

	H22/3期	H23/3期（予）	増減	伸率
売上高	4,239	4,600	361	8.5
営業利益	236	250	13	5.5
経常利益	239	250	10	4.5
当期純利益	105	135	29	27.8
一株当たり純利益	8,064	8,014	—	—
一株当たり配当金	4,000	4,000	—	—

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。
※US1ドル＝91円で換算しております。

■ 売上は回復傾向
■ 通期予想は期初計画を据え置き

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

2. 分野別売上高（予想）

単位：百万円、%

	H22/3期		H23/3期（予）			
		構成比		増減	伸率	構成比
特　許	1,337	31.6	1,360	23	1.7	29.6
医　薬	1,488	35.1	1,620	131	8.9	35.2
工　業	914	21.6	1,020	105	11.6	22.2
金　融	360	8.5	400	39	11.1	8.7
その他	137	3.2	200	63	46.0	4.3
合　計	4,239	100.0	4,600	360	8.5	100.0

※本文中の百万円未満は、全て切り捨てて表示しております。

■ 医薬は堅調を維持、工業と金融は回復基調、特許は底入れを見込む

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

3. 損益計算書(予想)

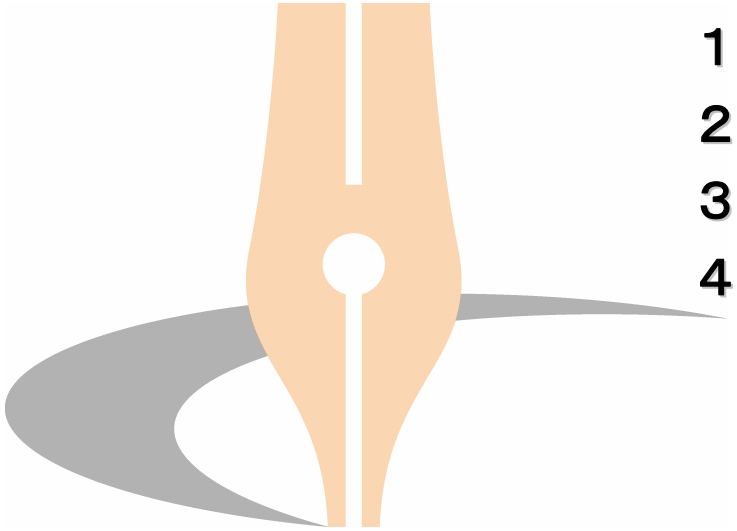
単位:百万円、%

	H22/3期	構成比	H23/3期（予）	増減	伸率	構成比
売上高	4,239	100.0	4,600	360	8.5	100.0
売上原価	2,301	54.3	2,650	348	15.1	57.6
売上総利益	1,937	45.7	1,950	12	0.6	42.4
販売費及び一般管理費	1,700	40.1	1,700	0	0.0	37.0
営業利益	236	5.6	250	13	5.5	5.4
営業外収益	2	0.0	0	△2	—	—
営業外費用	0	0.0	0	0	—	—
経常利益	239	5.6	250	10	4.5	5.4
特別損益	△36	0.8	0	36	—	—
税金等調整前当期純利益	202	4.8	250	47	23.5	5.4
当期純利益	105	2.5	135	29	27.8	2.9

■ 加工費の振替方法の一部変更により、販管費から売上原価へ一部シフト

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

Ⅲ．今後の戦略



1．市場環境／翻訳業界内での動き
2．重点施策
3．株主還元
4．まとめ

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

1. 市場環境／翻訳業界内での動き

・市場規模は2,000億円、会社数は2,000社
（日本翻訳連盟「翻訳白書 2008年度」より）

・厳しい経済環境を経て、優勝劣敗がより鮮明化

・業界環境は最悪期を脱する

差別化を図るには

営業力の強化・サービスの高付加価値化が不可欠

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

2. 重点施策

（1）「翻訳プラットフォーム」の構築

（2）米国子会社の黒字化

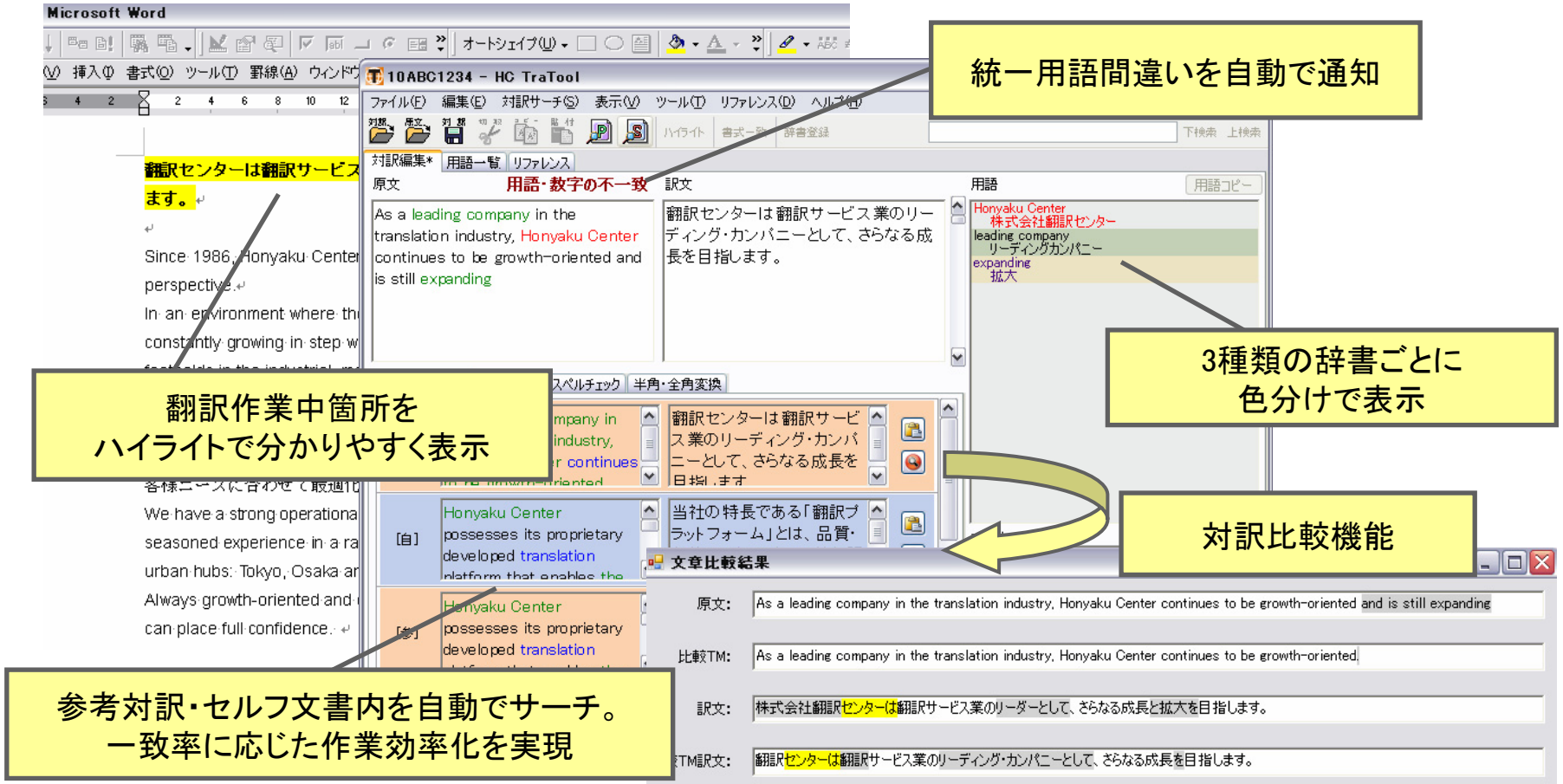
（3）エムスリー（株）との資本・業務提携

（4）ローカリゼーション／マニュアル翻訳への進出

（5） 特許出願支援サービスの本格化

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

2. 重点施策 （1）翻訳プラットフォームの構築



■ 翻訳の品質向上と作業の効率化を目指す

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

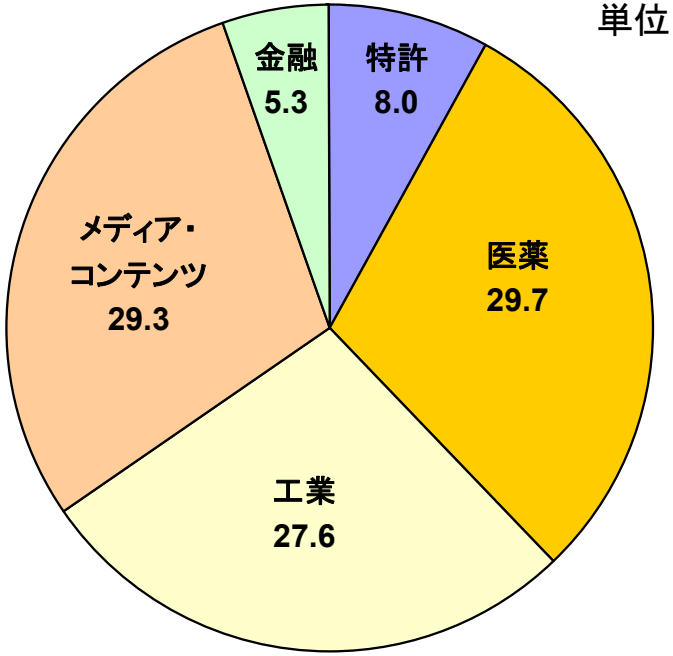
2. 重点施策 (2)米国子会社の黒字化

単位:百万円

	H20/12期	H21/12期	H22/6
売上高	92	93	71
営業利益	△9	12	20
経常利益	△16	12	18
当期純利益	△21	12	18

H22/6 分野別売上高構成比

単位:%



■ 売上・利益とも大幅増によりグループ業績に貢献

■ メディア・コンテンツに加え、主力4分野での売上高がさらに拡大

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

2. 重点施策 （3）エムスリー（株）との資本・業務提携

エムスリー「m3.com」

当社「医学論文サイト」（m3.comとリンク）

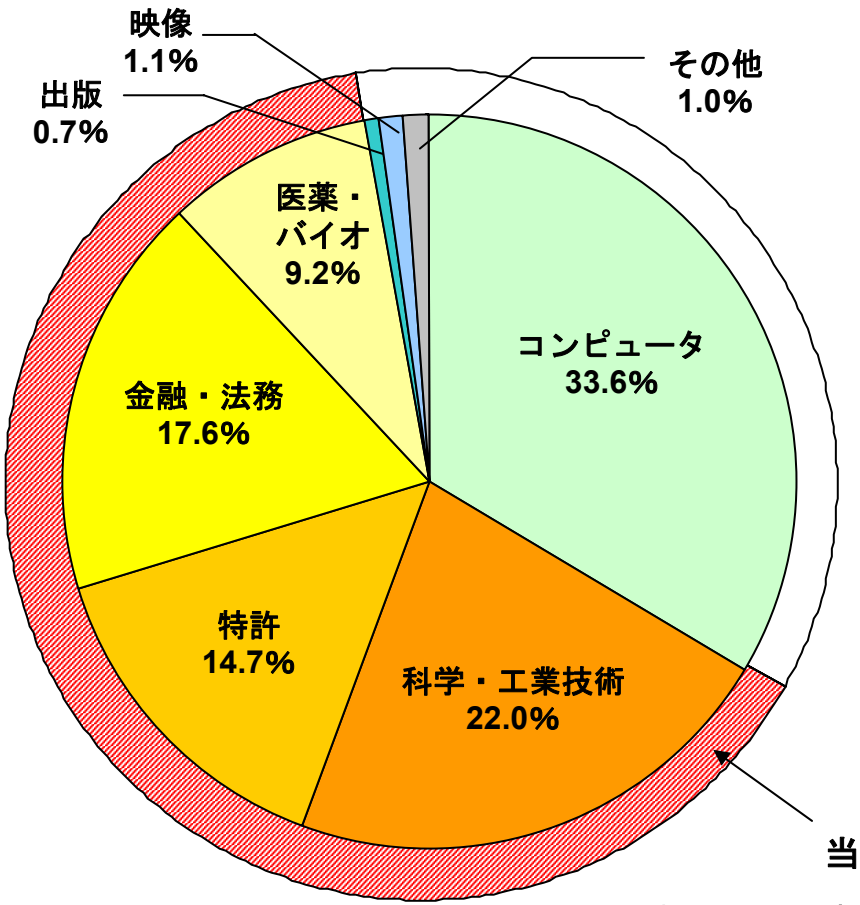
■ アクセスしにくい医学論文翻訳市場への販路を確保

■ H21年4月より開始し、H22年9月末時点でのHC登録医師会員は約43,000人

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

2. 重点施策 （4）ローカリゼーション／マニュアル翻訳

翻訳の取扱分野　調査結果



出典：日本翻訳連盟「翻訳白書 2008年度」

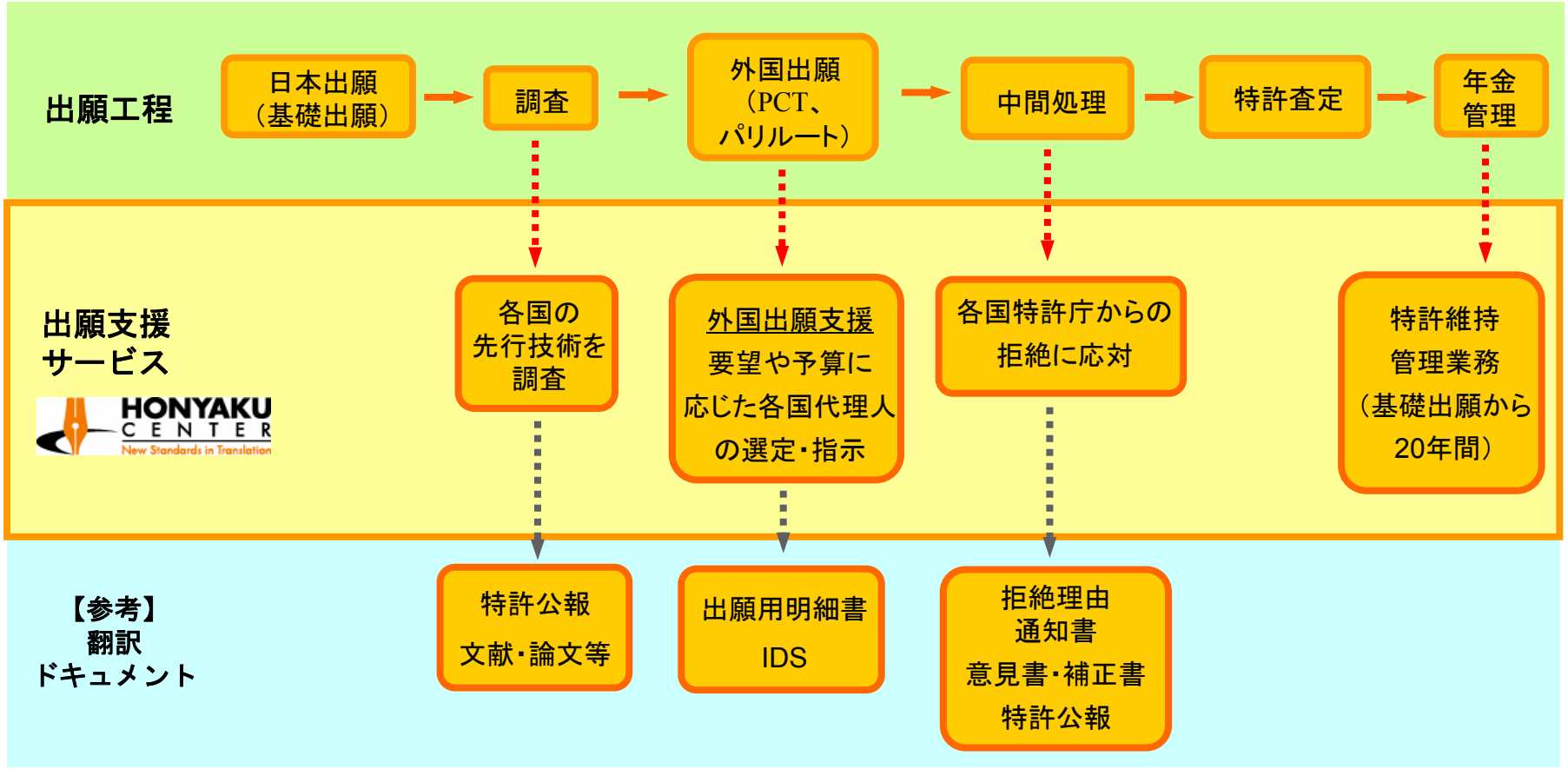
■ 600億円市場への参入

- 英語→日本語
- 外資系システムベンダー
- 価格環境は厳しいが、
  市場規模は大きい

H22年10月にプロジェクトチームを
発足、制作体制を強化

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

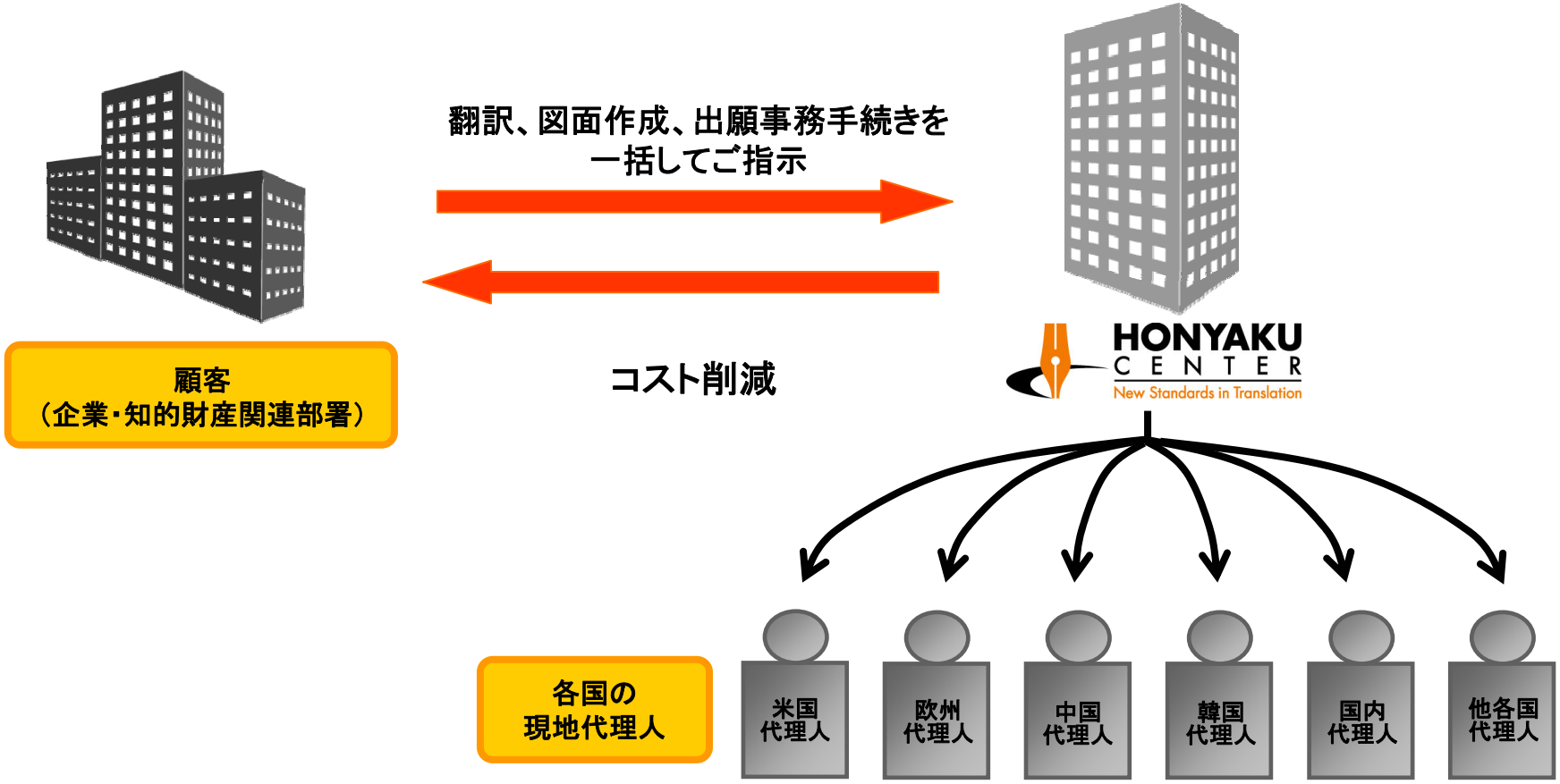
2. 重点施策 (5)特許出願支援サービス



■ 今年中の子会社設立に向け、最終準備段階

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

2. 重点施策 (5)特許出願支援サービス

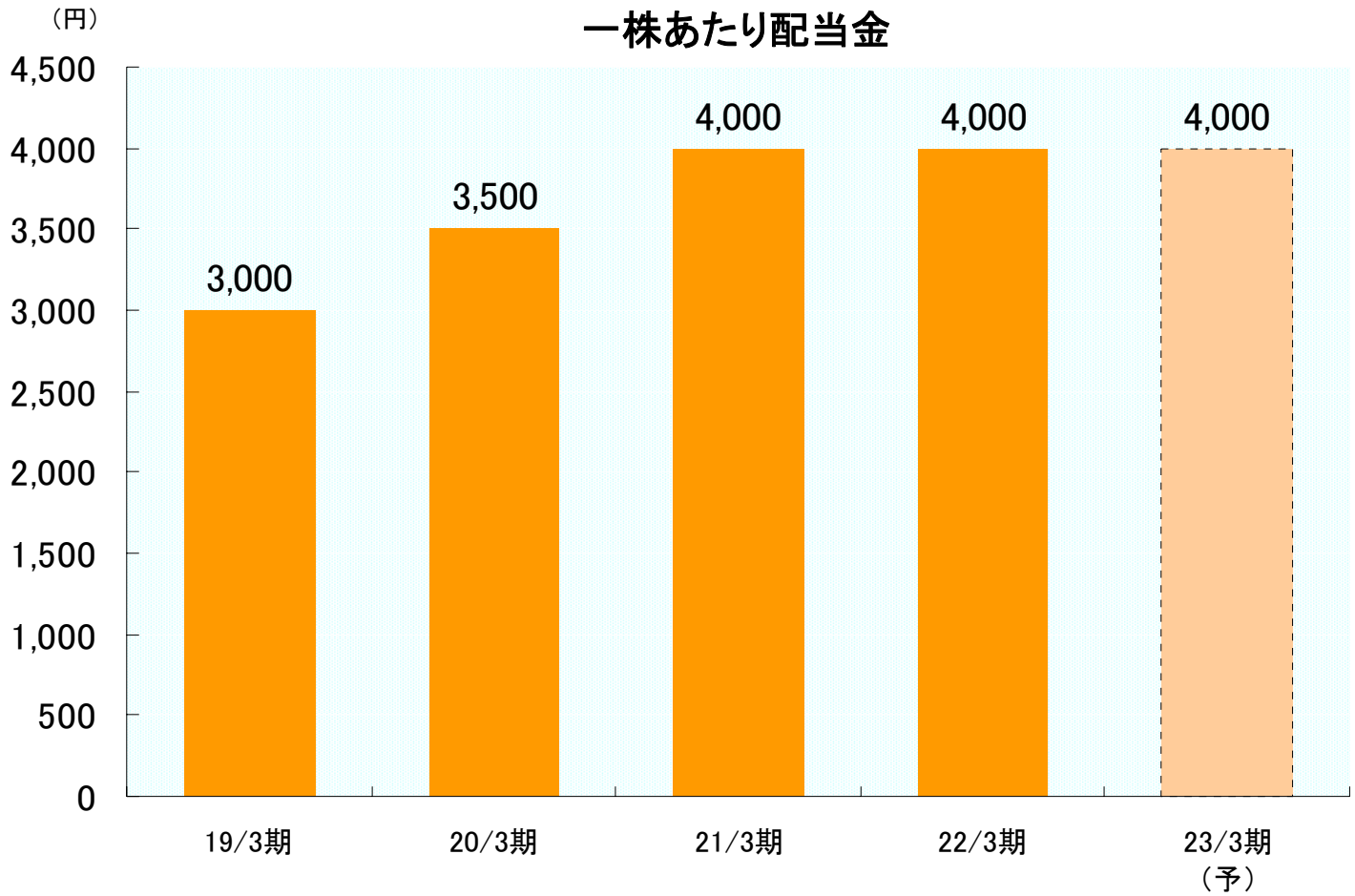


■ 煩雑な特許出願のやりとりや管理を一括して担当

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

3. 株主還元

利益成長に応じた継続的な増配を目標としてまいります



Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.

4. まとめ

■ 持続的な利益成長を可能とするコスト構造を構築

■ HC TraToolなどの新たなシステム導入による効率化の促進

■ さらなる成長に向けた事業展開と高付加価値化への取り組み強化

Copyright 2010 HONYAKU Center Inc. All Rights Reserved.